



瀬谷区 在宅医療相談室だより

発行：瀬谷区在宅医療相談室
〒246-0021 横浜市瀬谷区二ツ橋町489-46
瀬会館医師会館2階
電話 045-520-3122

ごあいさつ

令和4年は、コロナとロシアのウクライナ侵攻で、息をするのも苦しくなるような1年でした。今年に入りコロナの猛威は少しずつおさまったかのように見えますが、まだまだ気を抜けないのが現状です。相談室でも、講演会や連携会議などの開催はWEB上での会議が主流となりました。でも、やっぱり、人は会って話をする事でより多くの意見が活発に出て盛り上がるのだと感じています。早く、顔を見て笑いあい、地域のみなさんとも、膝を突き合わせてお話しできる日をたのしみにしています。



令和4年度の相談室では、新型コロナウイルス感染症感染拡大に際し、横浜市より瀬谷区医師会に委託された事業 COVID-19 在宅支援事業「神奈川モデル」の運営に賛同し、瀬谷区民の感染者の見守り支援を行いました。今年にはいり、新型コロナウイルスの感染が落ち着き令和5年5月初めに終了となります。

令和4年度活動内容

事例検討会

- 4/20 瀬谷区訪問看護連絡会合同事例検討会
- 5/24 神奈川臨床倫理研究会に事例提出
- 9/20 訪問看護連絡会 事例検討会
- 11/22 神奈川臨床倫理研究会に事例提出



市民啓発講演会

- 6/30 二ツ橋地域ケアプラザ もしバナゲーム
- 7/19 二ツ橋地域ケアプラザ もしバナゲーム
- 10/26 せやまるカフェ「アサーションを学ぶ」
～より充実した多職種協同をめざして～
- 12/9 瀬谷区医療・福祉セミナー

2023年以降

- 1/23 せやまる office 在宅ネットオーナー会議
- 3/7 二ツ橋第二地域ケアプラザ『在宅医療の話』講演

医師向け講演会

- 2/15 『介護認定主治医意見書の書き方』

その他セミナー等の開催

- 1/25 認知症 VR 体験研修
- 2/27 訪問看護連絡会「生活支援課の仕事」
- 3/17 [摂食嚥下・誤嚥性肺炎対策多職種連携研修会]
- 3/27 対人援助技術『喪失感へのメンタルケア』WEB研修



「もしも」の時の話

「もしも自分が余命1年と言われてしまったら…」とっても嫌なお話です。でも、「もしも」はすぐそこまで来ているかもしれませんね。その時に自分はどうしたいのか?どこに居たいのか?どんな治療をしたいのか?「こんなはずじゃあなかった?!」は困りますね。そんなことを考えながら、今自分がどうしたいかがちょっとだけわかるゲームがあります。それが「もしバナゲーム」です。



少しずつコロナもおとなしくなり、年明け集合で行ったのが、認知症 VR 体験研修です。VR マスクをかぶって、認知症の方がどんなふうに見えるのかを、みんな体験しました。視空間失認やしびー小体認知症の幻視などを体験することで、声のかけ方や支援の仕方を学ぶことができました。





摂食嚥下障害・誤嚥性肺炎 対策多職種連携研修会

日時：令和5年3月17日（金） 18:30～20:30
場所：瀬谷区医師会館2階会議室



1. (株)クリニコ 管理栄養士 山口 舞氏
＜嚥下調整食ととろみのつけ方＞サンプル説明・紹介
2. 瀬谷区医師会訪問看護ステーション
言語聴覚士 大谷 智美氏
「嚥下障害を疑う症状と嚥下リハビリテーション」
3. ひらの内科クリニック院長 平野 雄介先生
「誤嚥性肺炎の原因・病態生理について」



けあのツボ

マスクの着用も個人判断となり、人々も外に繰り出しています。海外からの観光客もずいぶん増えたようです。コロナの患者数も表向きはかなり減っているようですが、まだまだ安心はできない状況です。そうはいつでも、いつまでも引きこもってはいただけませんよね。改めて、うがい、手洗い、人混みでのマスク着用など、各自が意識して感染対策をしていきましょう。

医師会会議室で行われた研修会では、(株)クリニコさんによるとろみ調整剤の濃度別の試飲や、ゼリー剤の使い方など即現場で役立つ講義がありました。また、医師会の言語聴覚士による嚥下リハビリテーションの実際を映像で見るなど、言語聴覚士への理解を深めました。

最後にひらの内科クリニック平野先生による誤嚥性肺炎の講義では、造影剤を使った嚥下検査の実際を何例も見せていただき、誤嚥のメカニズムを理解しました。また肺炎球菌の予防接種の最新の接種方法を教えていただきました。

摂食嚥下・誤嚥性肺炎対策多職種
連携研修会は、今年度から毎年
定例で開催する予定。



3月27日(月)あく手の会と在宅医療相談室
共催による、対人援助技術 WEB 講演会が
開催されました。

講師は、昨年も対人援助技術の講義をお願いした公認心理士の稲富先生で、今年も先生が長年関わってこられたカウンセリングの事例を入れつつ、わかりやすくお話しいただきました。

第2回 対人援助技術 WEB講演会

講師 川崎こころのケアセンターセンター長
公認心理士・臨床心理士 稲富 正治先生

テーマ 喪失感へのメンタルケア

日時 令和5年3月27日(月) 18:00～20:00
開催方法 オンライン(ZOOM)

対象者 瀬谷区内医療・福祉従事者

申し込み方法 メールで申し込み
詳細は裏面記載



在宅医療相談室では、今年度も「あく手の会」と共催し、コロナ禍でも行えるグリーンケアとして、支援者側にたった講演会を開催しました。令和5年度には、再び患者家族の支援の会、遺族の会(詩音の会)を対面で開催することを目標に企画したいと思います。



瀬谷区の誇る通信隊跡地の開発が決まり、その手始めとしての花博の準備が始まりました。春夏秋冬、美しい景色を見せてくれた、あの草原もなくなります。たくさんの野鳥も動物も虫たちも、きっとどこかへ行くのでしょうか。これからは、新しい何かに生まれ変わるのでしょう。時代は変わっていくのです。桜の並木もきっと生まれ変わることを信じていますね。いつまでも美しい瀬谷でありますように。 編集大嶽 朋子